ラリーノシリーズ

Larino Series

手のひらサイズのミニキュウリ!

完全節成~房成りで均一な果実が収穫できる。

うどんこ病に強い抵抗性を持ち、べと病他にも実用的耐病性を持つ。

ハウス・露地を問わず栽培でき、減農薬栽培も可能。

家庭菜園・直売所向け栽培・営利栽培・加工・業務用栽培まで、可能性は無限。





●作型/ハウス~露地~ハウス抑制

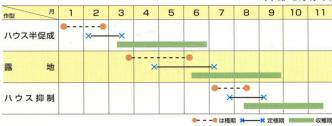


共 通 特 性

- ●果長9~10cm、果重40~50gで収穫するのがベストです。
- ●着果は旺盛で、果実の揃いが良く、曲がり果や奇形果がほとんど出ません。
- ●食味はマイルドで、青臭みがなく、ほのかな甘みを持ちます。苦味は出ません。
- ●イボがないので、水切れがよく、調理が簡単。日持ち性もあります。
- ●サラダ等の生食用だけでなく、漬物用の加工・業務用野菜としても利用できます。
- ●株間は60cmを基本としますが、50cm前後でも可能です。
- ●完全節成性+房成り性で、雌花が1節に1~3花以上着生し、急速 に着果肥大します。
- ●節間が短く、雄花はほとんど着生しません。
- ●収穫末期に稀に少数のイボが出ることがありますが、食味等に影響はありません。
- ●うどんご病に非常に強い抵抗性を持つので、病害が多発する圃場での栽培や減農薬栽培に最適です。

- ●一般的なキュウリ用台木との相性も良く、連作圃場でなければ自根栽培を可能です。
- ●ハウス栽培・露地栽培・ハウス抑制栽培まで幅広く栽培できます。
- ●家庭菜園・直売所向け栽培・営利栽培のいずれにも適します。
- ●茎葉がコンパクトなので、プランター/コンテナ栽培にも最適です。

(中部地方標準)







Larino (F1 hybrid)

特性

- ●ハウス半促成での栽培では側枝がほとんど出ない、主枝型の品種です。
- ●主枝成り品種ですので、ひもを使う「吊り下げ栽培」でも作れます。
- ●ネット栽培では、主枝を摘心せずに伸ばし、ネットから垂らす方法もあります。
- ●完全節成~房成り性が強いので、灌水と追肥を怠らないよう気をつけて下さい。
- ●側枝が出にくいので、ベランダでの栽培にも適します。大型の野菜用プラン ターの中央に1株を定植し、太陽光線が葉に充分当たるように管理します。
- ●高温期の露地栽培など、栽培環境により、側枝が出ることがあります。



ラリーノPro



Larino Pro (F1 hybrid)

特性

- ラリーノより低温伸長性が強いので、同時に定植した場合、収穫時期が早く なります。
- ●ラリーノより側枝が多く発生するので、株間をやや広めに取ります。
- ●主枝と側枝に着果させ、栽培期間を長くすると、ラリーノより多く収穫できます。
- ●ラリーノよりこころもち長めでスマートな果実が成ります。果皮の色、食味、耐病性はラリーノとほぼ同じです。

ラリーノホワイト



Larino White (F1 hybrid)

特性

- ●果皮が薄白緑色の可愛らしいミニキュウリ。サイズはラリーノと同じです。
- ●ラリーノやラリーノProと一緒に透明の袋や箱に入れるとコントラストが鮮やか。
- ラリーノと同時に定植すると、初期の生育はやや遅れますが、中盤から雌花が旺盛に着生~着果し、ラリーノやラリーノProと同じかそれ以上収穫できます。ラリーノやラリーノProとの同時収穫を狙うなら7~10日程度早く定植する方がよいでしょう。
- ●ラリーノと同等のうどんこ病抵抗性を持つ、非常に作りやすいミニキュウリです。
- ●果肉はラリーノやラリーノProよりややソフトですが、食味や日持ち性は同等です。 栽培環境により、果皮色がやや濃くなることがありますが、食味に影響はあ りません。
- ●ラリーノやラリーノProと一緒に栽培~出荷すると、見栄えが良く、ミニキュウリ の品揃えが増え、売上アップにつながります。

